

Market Watching

発表日: 2020年9月28日(月)

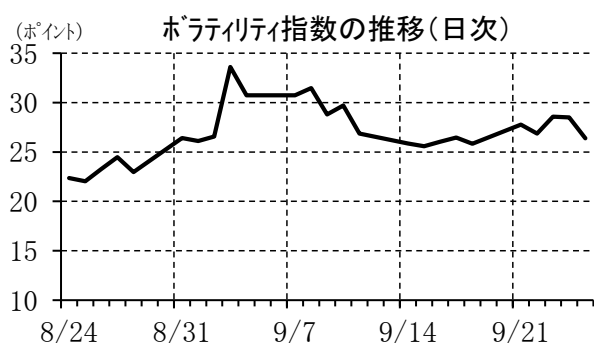
討論会後、米大統領候補の支持率はどう変わるか(マーケットウィークリー)
～米与野党対立で景気対策遅れれば株式市場は催促相場入りも～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
9月21日(月)	—				
9月22日(火)	スウェーデン: 金融政策委員会 米国: 中古住宅販売件数 (8月)	0.00% 600	0.00% 595	0.00% 586	レボ金利 万件
9月23日(水)	NZ: 金融政策委員会 日本: PMI製造業景気指数 (9月) PMIサービス業景気指数 (9月) タイ: 金融政策委員会 ユーロ: PMI製造業景気指数 (9月) PMIサービス業景気指数 (9月) 米国: PMI製造業景気指数 (9月) PMIサービス業景気指数 (9月) 米国: FHFA住宅価格指数 (7月)	0.25% 47.3 45.6 0.50% 53.7 47.6 53.5 54.6 +1.0%	0.25% — — 0.50% 51.9 50.5 53.3 54.5 +0.4%	0.25% 47.2 45.0 0.50% 51.7 50.5 53.1 55.0 +0.9%	オフィシャルキャッシュレート ポイント ポイント 翌日物レボ金利 ポイント ポイント ポイント ポイント 前月比
9月24日(木)	ドイツ: ifo景気動向指数 (9月) トルコ: 金融政策委員会 米国: 新規失業保険申請件数 (9/12終了週) 米国: 新築住宅販売件数 (9月) メキシコ: 金融政策決定会合	93.4 10.25% 870 101.1 4.25%	93.8 8.25% 840 87.5 4.50%	92.6 8.25% 860 90.1 4.50%	ポイント 1週間物レボ金利 千件 万件 銀行翌日物金利
9月25日(金)	米国: 製造業受注 (8月) ・耐久財 ・非国防資本財 (除航空機)	+0.4% +1.8%	+1.0% +0.8%	+11.4% +1.9%	前月比 前月比
9月26日(土)	—				
9月27日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.654	▲3.9	▲2.0	▲155.1	0.138	0.147	0.521
日本	0.010	+0.0	▲2.0	+27.0	0.025	0.021	-0.005
ドイツ	-0.529	▲4.4	▲9.8	+4.6	-0.469	-0.465	-0.430
豪州	0.798	▲8.9	▲8.8	▲14.3	0.896	0.885	0.947
株価							
NYダウ	27173.96	▲1.7	▲3.8	+0.8	27927	27043	26240
日経平均	23204.62	▲0.7	▲0.4	+5.4	23257	22795	21890
ユーロSTOXX50	3137.06	▲4.5	▲5.8	▲10.7	3282	3286	3261
上海総合	3219.42	▲3.6	▲4.6	+8.9	3317	3263	3043
為替相場							
ドル/円	105.58	+1.0	▲0.8	▲2.0	105.71	106.32	107.64
ユーロ/円	122.88	▲0.8	▲2.4	+4.2	124.87	123.52	120.90
豪ドル/円	74.22	▲2.6	▲3.0	+2.0	76.58	75.57	72.88
ユーロ/ドル	1.1631	▲1.8	▲1.7	+6.3	1.181	1.162	1.124
商品市況							
WTI	40.25	▲2.1	▲7.2	▲28.7	40.39	40.62	39.22
金	1857.8	▲4.9	▲2.8	+23.4	1930	1886	1728

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (9/21~9/25) の金融市場は、米国株がハイテク株中心に急落する場面があるなど、株式市場中心にやや不安定な展開となった。米国では、大統領選挙が近づく中で与野党間の対立が続き、追加の景気対策が遅れて景気に悪影響が及ぶことが警戒された。欧州での感染第二波の拡大が収束する兆しが見えず、徐々に経済活動を抑制する政策を強めざるを得なくなっていることも悪材料となった。一方、日本では固有の悪材料は目立たず、株の下落率は小幅にとどまった。

今週のマーケットは、注目材料が多い一週間となる。米国では、大統領選候補の第一回討論会が行われる。支持率では民主党のバイデン候補が優位な状況が続いているが、趨勢的に見ればトランプ大統領との支持率の差は縮小傾向にある。世論調査による支持率には“隠れトランプ派”の存在があるとされ、今選挙では黒人差別問題もあって前回大統領戦時よりもその存在は多いという指摘もある。その点を加味すれば両候補の支持はほぼ拮抗しているとも考えられ、討論会の出来映えで雌雄が決する可能性もある。ポイントは、バイデン候補がどこまで魅力を打ち出せるか、トランプ大統領が取り返しのつかないような失言をするかといったところか。経済指標では、日銀短観、米ISM、米消費者信頼感、米雇用統計など、おなじみの重要指標の発表が相次ぐ。日銀短観では前回からの持ち直しが見込まれるが、業種毎のバラツキは大きくなりそう。米消費者信頼感、前月は低下に転じてコロナ禍で最低水準を更新した。米国内での新規感染者数は一時期よりも減っているものの、ここところは下げ止まりからやや増えつつある。一方で、個人の所得を潤す諸施策は一巡、ないしは縮小している。雇用の回復にも歯止めがかかることが見えつつあり、消費者信頼感や雇用統計の内容次第では、早期の追加景気対策を求める催促相場となるリスクもあるので注意が必要だ。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
9月28日(月)	—				
9月29日(火)	日本：都区部消費者物価指数(9月)・総合 ・除生鮮食品 米国：S&Pコアプロダクツ価格指数・20都市(7月) 米国：消費者信頼感指数(9月)		▲0.1% ▲0.3% +3.6% 90.0	+0.3% ▲0.3% +3.5% 84.8	前年比 前年比 前年比 ポイント
9月30日(水)	日本：商業動態統計・小売業販売額(8月) 日本：鉱工業生産指数(8月) 日本：住宅着工戸数(8月) 中国：PMI製造業景気指数(9月) 中国：財新PMI製造業景気指数(9月) ドイツ：失業率(9月) ユーロ：消費者物価指数速報値(9月)・総合 ・コア 米国：ADP雇用統計(9月) 米国：実質GDP確定値(4-6月期) 米国：シカゴ地区PMI(9月)	★★★★ ★★★★ ★ ★★★★ ★★★★ ★ ★ ★★★★ ★ ★ ★★★★ ★	▲3.2% +1.5% 81.7 51.5 53.0 6.4% ▲0.2% +0.4% +625 ▲31.6% 52.0	▲2.9% +8.7% 82.8 51.0 53.1 6.4% ▲0.2% +0.4% +428 ▲31.7% 51.2	前年比 前月比 万戸 ポイント ポイント ポイント 前年比 前年比 前月差、千人 前期比年率 ポイント
10月1日(木)	日本：日銀短観(9月)・大企業製造業業況判断 先行き ・大企業非製造業業況判断 先行き 日本：新車販売台数(9月)・乗用車 インド：金融政策委員会 フィリピン：金融政策決定会合 ユーロ：失業率(8月) 米国：個人所得支出統計(8月)・実質個人消費 ・PCEコアフレタ 米国：新規失業保険申請件数(9/26終了週) 米国：ISM製造業景気指数(9月) 米国：自動車販売台数(9月)	★★★★ ★★★★ ★★★★ ★★★★ ★ ★ ★ ★★★★ ★★★★ ★★★★ ★★★★ ★	▲22 ▲16 ▲9 ▲7 — 4.00% 2.25% 8.1% +0.5% +1.2% 850 55.5 1,560	▲34 ▲27 ▲17 ▲14 ▲16.1% 4.00% 2.25% 7.9% +1.6% +1.0% 870 56.0 1,520	DI DI DI DI 前年比 レポート 翌日物利バスレボ金利 前月比 前年比 千件 ポイント 万台
10月2日(金)	日本：労働力調査・失業率(8月) 日本：一般職業紹介状況・有効求人倍率(8月) 日本：消費動向調査・消費者態度指数(9月) 米国：雇用統計(9月)・非農業就業者数 ・失業率 ・時間あたり賃金	★★ ★ ★ ★★★★ ★★★★ ★★	3.0% 1.05倍 31.4 +900 8.2% +4.8%	2.9% 1.08倍 29.3 +1,371 8.4% +4.7%	ポイント 前月差、千人 前年比
10月3日(土)	—				
10月4日(日)	—				

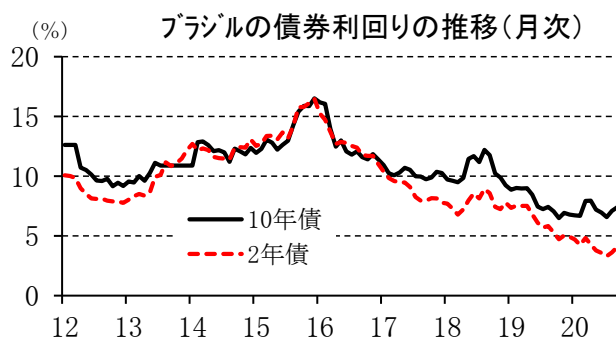
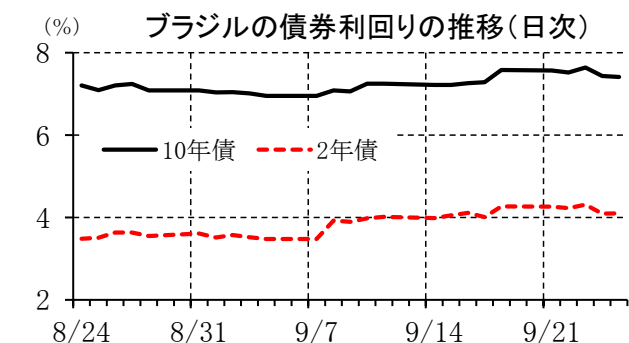
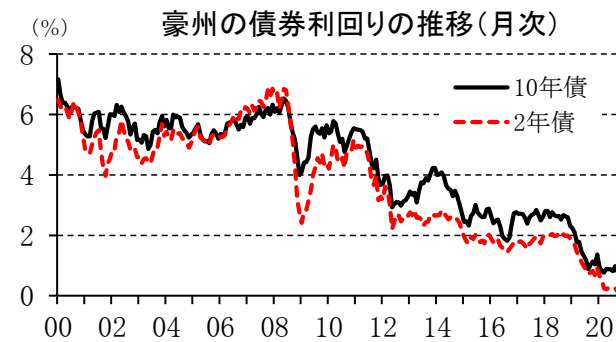
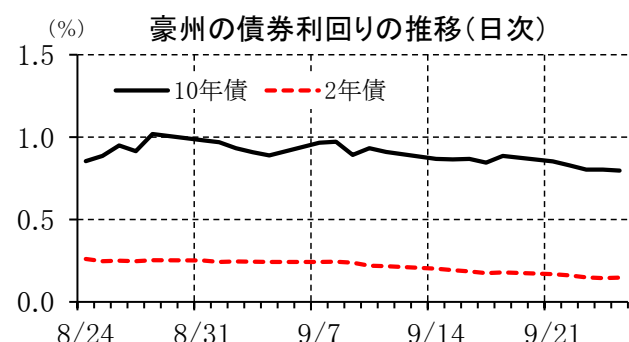
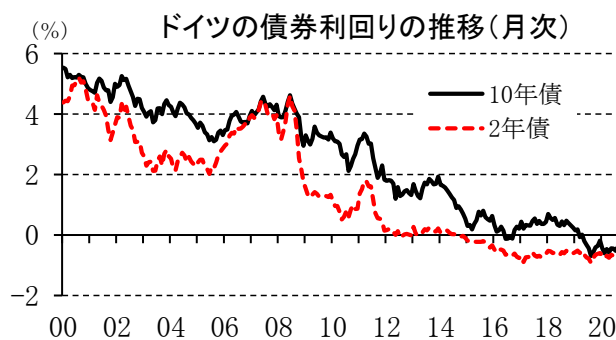
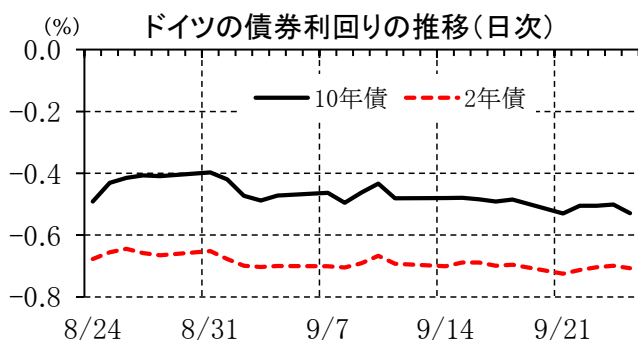
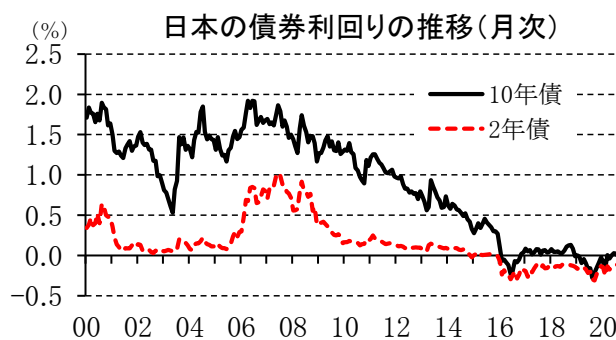
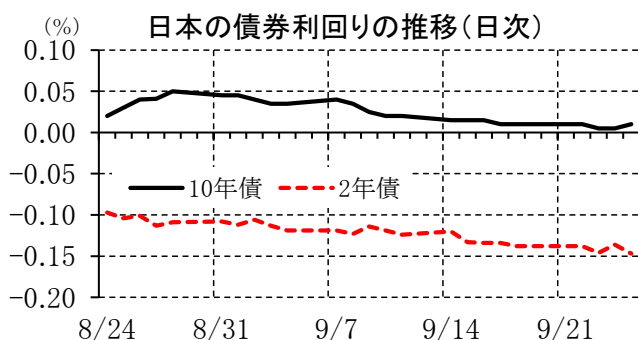
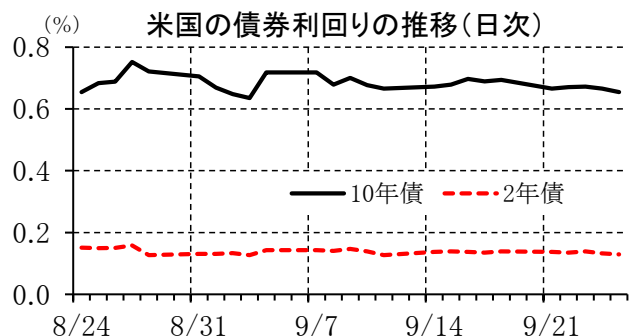
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

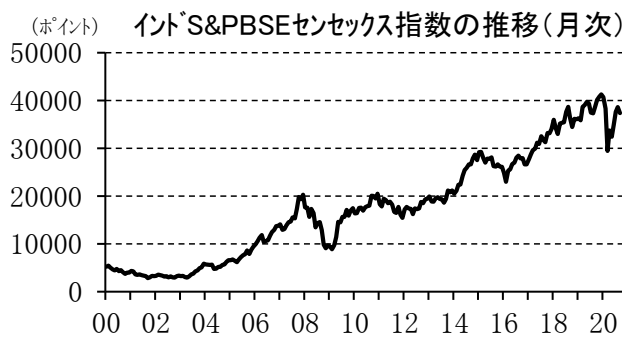
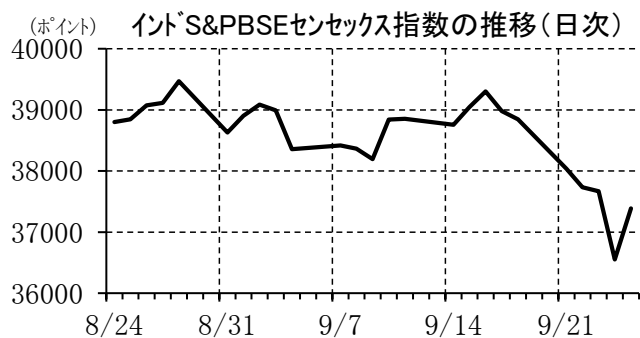
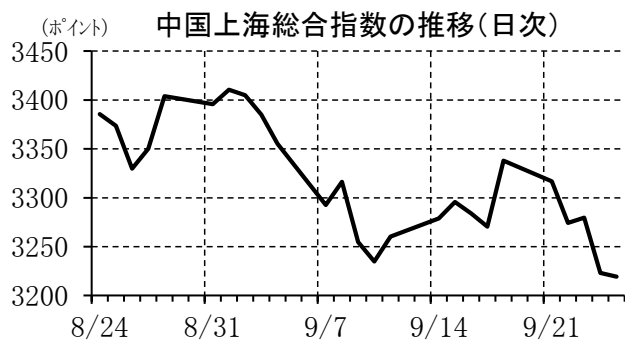
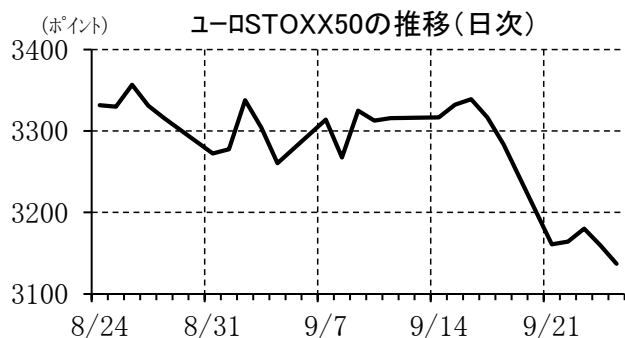
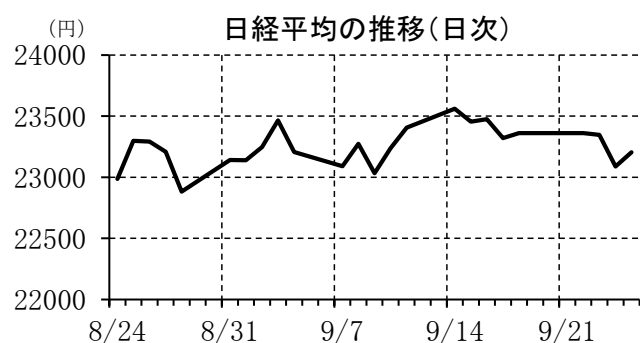
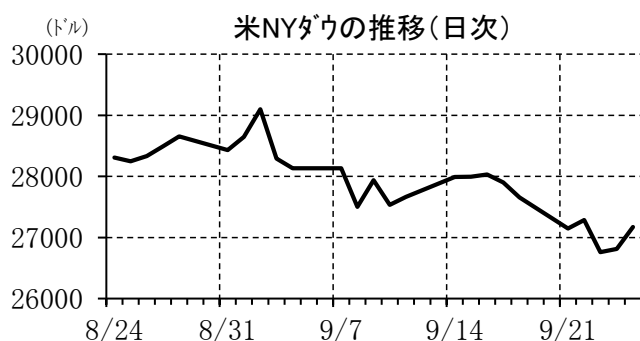
発表日	イベント	注目度	備考
9月28日(月)	ユーロ：シュナベルECB理事講演		
9月29日(火)	日本：金融政策決定会合「主な意見」(9月分) 米国：NY連銀総裁講演 米国：大統領選候補第1回討論会 英国：ヘイボウBOE総裁講演	★ ★ ★★★★ ★★	
9月30日(水)	ユーロ：カールトECB総裁講演	★★★★	
10月1日(木)	中国祝日(～10/8) EU：臨時首脳会議(～10/2) 米国：NY連銀総裁講演	★ ★	
10月2日(金)	—		
10月3日(土)	—		
10月4日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

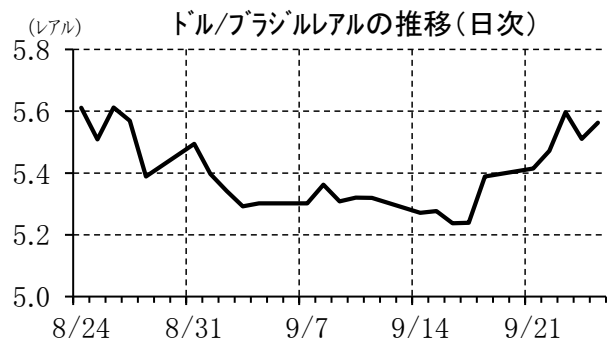
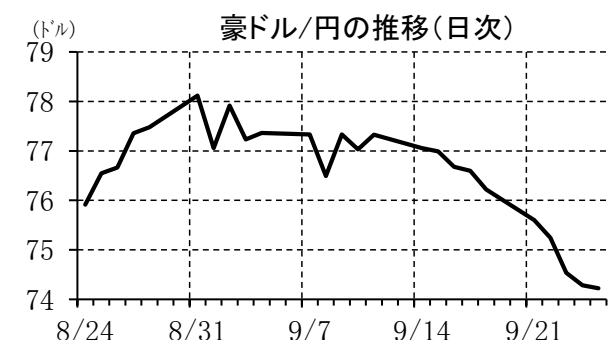
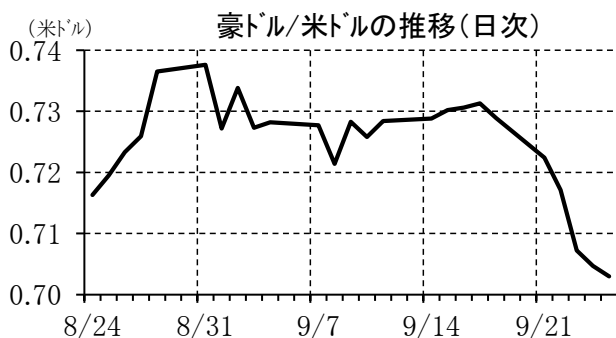
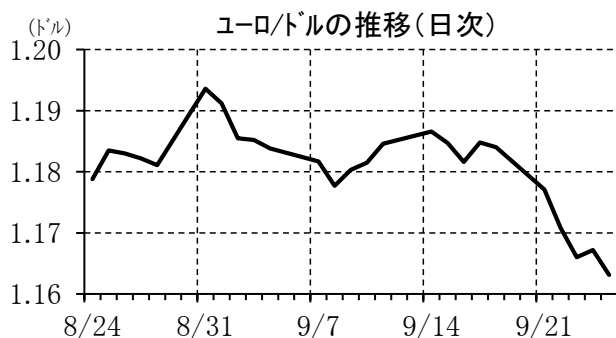
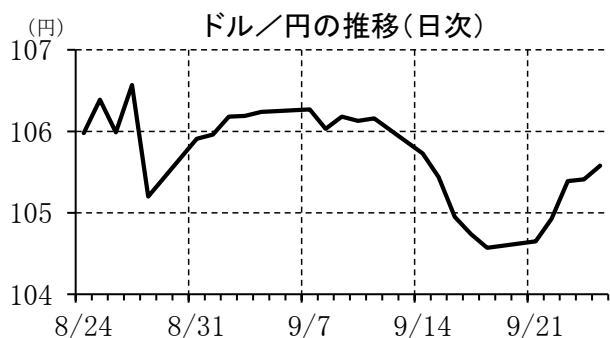
【債券利回り】



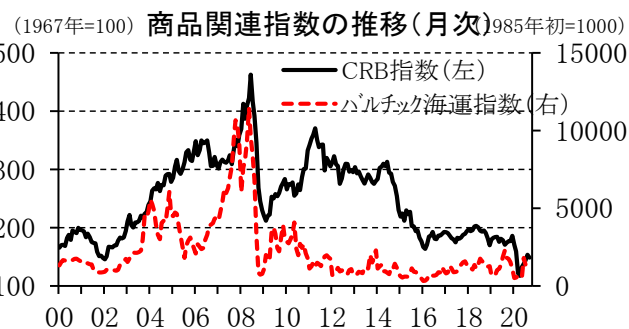
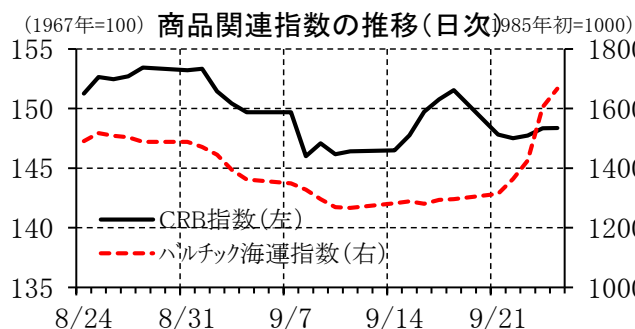
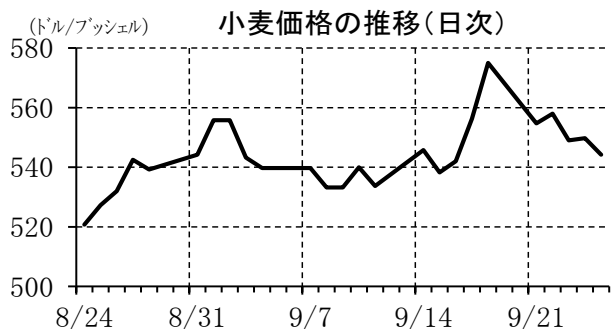
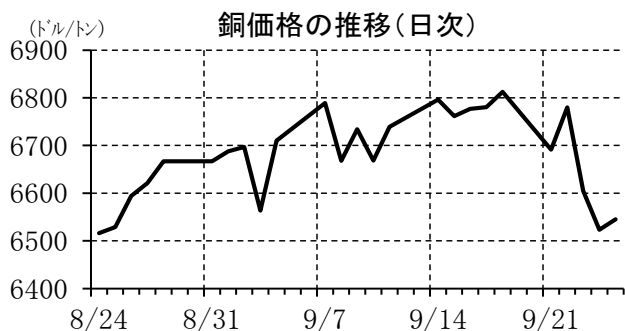
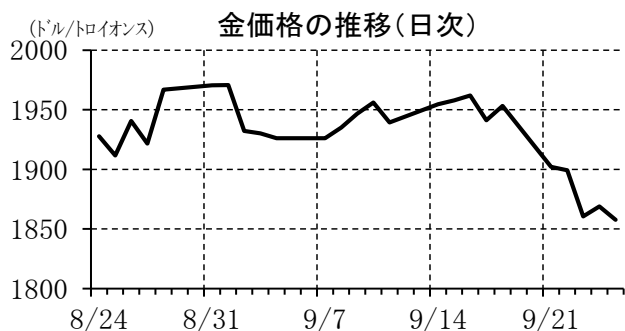
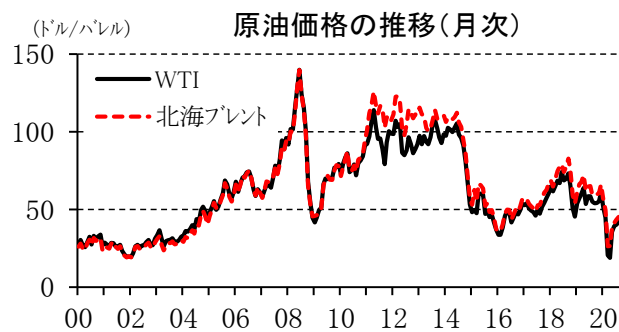
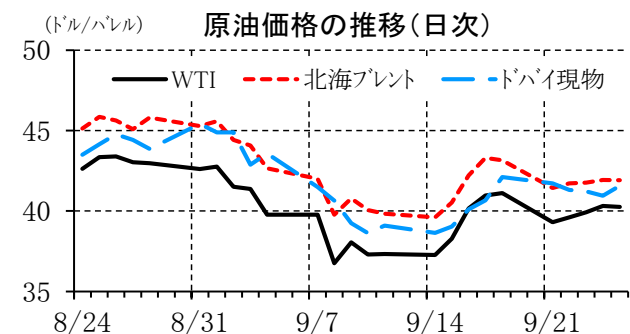
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。